

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第4区分
 【発行日】平成24年6月14日(2012.6.14)

【公開番号】特開2011-76662(P2011-76662A)
 【公開日】平成23年4月14日(2011.4.14)
 【年通号数】公開・登録公報2011-015
 【出願番号】特願2009-226040(P2009-226040)
 【国際特許分類】

G 1 1 B 20/10 (2006.01)
 G 1 1 B 19/02 (2006.01)
 H 0 4 N 5/781 (2006.01)
 H 0 4 N 5/765 (2006.01)
 H 0 4 N 5/91 (2006.01)

【F I】

G 1 1 B 20/10 3 1 1
 G 1 1 B 19/02 1 0 0 Z
 H 0 4 N 5/781 5 1 0 J
 H 0 4 N 5/91 L
 H 0 4 N 5/91 Z

【手続補正書】
 【提出日】平成24年4月25日(2012.4.25)
 【手続補正1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0009
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0009】

本発明の情報記録装置は、情報記録装置本体と、前記情報記録装置本体とは独立して起動可能に構成され、外部から入力される情報を記録する主記録手段とを備え、前記情報記録装置本体は、前記主記録手段の異常を検知する検知手段と、前記検知手段によって、前記主記録手段に異常が発生したことが検知されたとき、前記情報を記録する補助記録手段と、前記検知手段によって、前記主記録手段に異常が発生したことが検知されると、前記主記録手段による前記情報の記録動作から前記補助記録手段による前記情報の記録動作に切換えるとともに、前記主記録手段を再起動する制御手段とを備えることを特徴とする。

【手続補正2】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】請求項1
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【請求項1】

情報記録装置本体と、前記情報記録装置本体とは独立して起動可能に構成され、外部から入力される情報を記録する主記録手段とを備え、前記情報記録装置本体は、前記主記録手段の異常を検知する検知手段と、前記検知手段によって、前記主記録手段に異常が発生したことが検知されたとき、前記情報を記録する補助記録手段と、前記検知手段によって、前記主記録手段に異常が発生したことが検知されると、前記

主記録手段による前記情報の記録動作から前記補助記録手段による前記情報の記録動作に切換えるととも、前記主記録手段を再起動する制御手段とを備えることを特徴とする情報記録装置。